

# 安定供給確保へ設備投資

平成26年6月4日株式譲渡により、日本合成アルコール株式会社は日本アルコール産業グループの傘下に入りました。



日本最大のエタノール供給グループの一員になり、更なる合成アルコールの安定供給を確保するため、今回5ヶ年設備計画を立案しました。

この計画は安定供給を磐石なものにするため、合成アルコール製造の心臓部である合成系設備の強化を骨子としております。

具体的には触媒に使用している燐酸による腐食トラブルを削減するため、反応器だけではなく、その周辺の設備の整備或いは更新を行っていきます。また、設備全体で経年劣化が心配される機器は順次最新の機器に更新します。



その投資金額は5ヶ年で10億円を予定しています。

日本合成アルコールはユーザーの皆様方から安心できる供給メーカーとして信頼されるため、今後も努力を続けてまいります。

平成26年8月吉日

日本合成アルコール株式会社

